

学校・メディア・大学で 共創する教育の未来

教員の労働環境などについて負のイメージを持たれ、教員志望者の減少にもつながっている中、社会的影響の強い教育報道の重要性は以前にも増して高まっています。そのような状況において、教育報道の現状を改めて見つめなおし、教職を巡る困難な現状を少しでも改善、回復させるにはどのような報道スタンスが必要かを、教育問題に関心の高いメディア関係者と学校関係者（教員、児童生徒、保護者）、大学の三者で考えます。そのような議論の中で、国立教員養成大学として教育のよりよい未来を社会と共創するためにどのような役割を担っていくべきか考えます。

11月26日(土)

愛知教育大学講堂

13:00～16:30 受付 12:30～

定員
600名

参加費
無料

オンライン
+対面

登壇者

大石邦彦氏
(CBCテレビ
ニュースアンカーマン)



加藤祥子氏
(中日新聞社
教育報道部記者)



上西将寛氏
(キャッチネットワーク
記者・ディレクター)



早川浩史氏
(江南市立布袋小学校
校長)



兼子明氏
(西尾市立平坂中学校
校長)



野田敦敬
(愛知教育大学学長)



申込方法

以下のURLもしくはQRコードより
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/AgLLdEwW2A>



一般社団法人 国立大学協会 2022年度 大学改革シンポジウム

学校・メディア・大学で 共創する教育の未来



11月26日(土) 愛知教育大学講堂

登壇者

大石邦彦氏
(CBCテレビ
ニュースアンカーマン)

上西将寛氏
(キャッチネットワーク
記者・ディレクター)

加藤祥子氏
(中日新聞社教育報道部記者)

早川浩史氏
(江南市立布袋小学校校長)

兼子明氏
(西尾市立平坂中学校校長)

野田敦敬
(愛知教育大学学長)

スケジュール

12:30～ 受付

13:00～ 開会行事〈趣旨説明〉

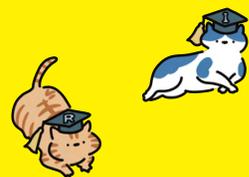
13:20～ 〈第一部〉パネルディスカッション
「教職をめぐる困難な状況を回復させるために、メディアや学校、大学が社会に向けてどのような発信をしてきたか」

14:50～ 休憩

15:10～ 〈第二部〉グループディスカッション
「どのような報道や発信を行うと学校に対する理解が深まり、より良い教育につながるのか」小中高大学生、教職員や保護者、地域の人々と共に語り合う

16:10～ 閉会行事〈総括〉
「国立大学が未来の教育を社会と共に作るためにどのような発信が必要か」

16:30 閉会



愛知教育大学

〒448-8542
愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
☎0566-26-2111 (代表)
<https://www.aichi-edu.ac.jp/>

- 公共交通機関で
- 名鉄名古屋本線 知立駅(北口)から名鉄バスで約20分
 - JR東海道線 刈谷駅から名鉄バスで約35分
 - 名鉄名古屋本線 富士松駅から名鉄バスで約15分
 - 名鉄豊田線 日進駅から名鉄バスで約25分
- 自家用車で
- 伊勢湾岸自動車道 刈谷スマートICから約5分